

# News Release

2011年6月1日

## 6月は「環境月間」カスミの環境活動について

株式会社カスミでは、6月の「環境月間」にあたり、お客様とともに地球温暖化防止につながる環境活動の推進に取り組みますので、お知らせ申し上げます。

### 【夏の省エネ「クール ビズ」(5/1~9/30)】

オフィスビルの省エネを目的とした「クール ビズ」の考え方に賛同し、本社及び各事業所、店舗の売場及び事務所等で冷房を控えるために、設定温度を28℃としてノーネクタイ・ノーリボンの軽装で省エネに努めます。

### 【従業員資源持参キャンペーン】

店頭リサイクルボックスにペットボトル等の資源を持参していただいている地域のお客様とともに、従業員も資源を持参するキャンペーンを実施し、資源回収の拡大を図ります。

《参考》

### 【「カスミ共感創造の森」第1回植樹祭を開催しました。】



2011年、創立50周年記念事業の一環として「カスミ共感創造の森」づくりに取り組みます。これは、茨城県笠間市の吾国愛宕県立自然公園で約4ヘクタールの森林再生事業を行うもので、森林の再生だけが目的ではなく、地域の皆様やお客様、カスミの従業員が共に植栽など



Changing & Learning with Customers

[www.kasumi.co.jp](http://www.kasumi.co.jp)

を体験することで自然に親しみ、環境保全の大切さを共感する長期的な取り組みです。5月14日には、お客様、地元住民、従業員など約200名が参加して第1回植樹祭が行われました。



「カスミ共感創造の森」の立て看板除幕式

## 【CO2削減プロジェクトを間接支援することで1,800トンのCO2を削減しました。】

カスミは、レジ袋無料配布中止の取り組みによりお客様からいただいたレジ袋収益金(2010年7月～12月分、565万4752円のうち280万円)を活用し、主に弊社出店地域において創出された1,800トンCO2の国内排出権を購入し、国内クレジット認証委員会の償却口座に移転いたしました。この度購入した国内排出権は、経済産業省の国内クレジット制度(\*)に基づいて創出されている信頼性の高いものであり、これによって日本国内のCO2削減及び京都議定書の目標達成に貢献しています。

カスミは1974年より「お買い物袋持参運動」を開始し、2004年にはレジ袋無料配布中止の取り組みを一部店舗からスタートし、本年5月1日現在、茨城県内全85店、栃木県内全7店を含む101店舗に広がっています。お客様からいただいたレジ袋の販売収益金は、

- ① 主に当社出店地域の温室効果ガス削減事業から生じる排出権の購入及び償却
- ② レジ袋無料配布中止店舗のある県(茨城、栃木、埼玉、千葉)の環境基金に寄附の2つの用途に活用し、お客様とともにCO2削減に貢献しております。

\*国内クレジット制度：大企業等の技術・資金等を活用して中小企業や農林事業者等が行った温室効果ガス抑制に向けた取り組みによる排出削減量を、政府の国内クレジット認証委員会が「国内クレジット」として認証し、大企業等が自ら策定した自主行動計画等の目標達成等に活用する制度。(2008年10月に開始された政府全体の取り組み)



Changing & Learning with Customers

[www.kasumi.co.jp](http://www.kasumi.co.jp)



## 【カーボンオフセットに係わる情報提供】

カーボンオフセットの仕組みの説明	カーボンオフセットとは、市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は、他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部または一部を埋め合わせることをいう。(出典：環境省「我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)」)
地球温暖化対策の緊急性の説明	1990年代に入り、地球温暖化が人類をはじめとする生物界全体に深刻な問題をもたらすことが指摘され始めました。温暖化の原因としてさまざまな要因が考えられますが、世界の科学者で構成されるIPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、2001年に発表した第3次評価報告書の中で、温暖化はほぼ確実に人類の活動によるものだ結論付けています。地球温暖化は、すでに異常気象などにより私たちの生活にも影響をもたらしていますが、今後、温暖化による砂漠化の進展や氷原・氷床の減少などの直接的な影響のほか、食糧生産、海岸の浸食、生物種の減少などにも一層深刻な影響がでてくるものと予想されます。(全国地球温暖化防止活動推進センター(JCCCA)WEBサイトより)
自社が行っているCO2削減努力	株式会社カスミは、事業活動を通じて排出するCO2の削減の取り組んでいます。当社は、2012年にCO2排出量を8万4千トン(2006年度比30%削減)を目標に、店舗や商品、お客様とともに、リサイクルの推進・レジ袋削減・トレーやダンボールの資材利用量削減などを通じて、全社を挙げてCO2排出の削減に取り組んでいます。
カーボンオフセット実施スキームの説明	当社は、2012年のCO2排出量目標を84,000トンとし、削減活動を推進しています。期間中、目標に対して不足している1800トンさらに削減し削減目標を達成するため、カーボンオフセットに取り組めます。経済産業省が実施する国内クレジット制度に基づいて実施されているCO2削減プロジェクトのうち、当社出展地域において実施されたプロジェクトを活用してカーボンオフセットします。オフセットの手続きについては、環境省のあんしんプロバイダー制度参加企業である株式会社リサイクルワンを通じて実施しています。(同社のカーボン・オフセットHP → <a href="http://www.co2-os.jp/">http://www.co2-os.jp/</a> )
対象とする活動	株式会社カスミの事業活動全体
対象とする期間	2010年3月1日～2011年2月28日
対象から排出されるCO2量	期間中、CO2排出量91,718トン
算定方法	エネルギー使用量等、省エネ法における基準に基づき算出
排出権の種類	国内クレジット
量	1,800tCO2e これは、杉の木約128,500本が1年間のうちに吸収するCO2量に相当します。(林野庁HP掲載情報より推計)
無効化の方法および状態	償却(国内クレジット認証委員会の償却口座に移転)
プロジェクト情報(実施地域・名称・プロジェクトタイプ)	表1参照
プロジェクト期間・排出削減量	表1参照
消費者負担の有無	レジ袋節約による資金を利用して、全額カスミの負担で実施します。
プロバイダー情報	オフセットは、環境省のあんしんプロバイダー制度参加企業である株式会社リサイクルワンが実施しています。同社のカーボンオフセット専用HPはこちら( <a href="http://www.co2-os.jp/">http://www.co2-os.jp/</a> )

表1 間接的に支援を行ったプロジェクト情報と貢献CO2削減量(排出権調達量)

申請受付番号	地域	プロジェクト名称	プロジェクト 総CO2削減量	排出権調達量
184	茨城県	食品工場におけるボイラーの燃料転換(LPG→LNG)	898 t-CO2	144 t-CO2
265	栃木県	食品工場におけるボイラーの燃料転換(重油→都市ガス)	95 t-CO2	20 t-CO2
272	群馬県	ポリエチレンフィルム製造工場におけるボイラーの燃料転換(重油→都市ガス)	189 t-CO2	20 t-CO2
146	埼玉県	食品工場におけるボイラーの燃料転換(重油→都市ガス)	382 t-CO2	38 t-CO2
160	千葉県	食品工場におけるボイラーの燃料転換(重油→都市ガス)	383 t-CO2	237 t-CO2
336	東京都	東京ドームにおける空調設備の更新	312 t-CO2	10 t-CO2
222	長野県	段ボール等製造工場におけるボイラーの燃料転換(重油→天然ガス)	1,899 t-CO2	1,141 t-CO2
262	大阪府	染物・晒し製造工場におけるボイラーの燃料転換(重油→都市ガス)	174 t-CO2	20 t-CO2
71	鹿児島県	養鰻場におけるボイラーの燃料転換(重油→木質バイオマス)	571 t-CO2	170 t-CO2



Changing & Learning with Customers

[www.kasumi.co.jp](http://www.kasumi.co.jp)